

■本調査の背景

第5次男女共同参画基本計画（令和2年12月25日閣議決定）において、「指導的地位への女性の参画を拡大することは、社会の多様性と活力を高め我が国経済が力強く発展していく観点や、男女間の実質的な機会の平等を担保する観点から極めて重要である」とされている。

我が国における女性の政策・方針決定過程への参画には一定の進捗がみられるものの、更に一層の取組が必要となっている。

■調査目的

本調査研究では、最近の諸外国における企業役員等の女性比率の向上を目的としたクォータ制等の施策について、制度・施策等の導入経緯、内容、政策的効果及びその運用状況等について、詳細を把握・分析し、我が国の取組への示唆を得ることで、第5次男女共同参画基本計画の目標達成に向けた取組の推進を図る。

■調査期間

2022年1月14日～2022年3月31日

■調査方法

- ・各国大使館への質問調査
- ・インターネット上での文献調査
- ・必要に応じて有識者個別ヒアリング

この調査は、株式会社イー・ウーマンが内閣府男女共同参画局から受託し、実施した。